

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・ 否)

区 分	1.森づくり 4.森と暮らし	2.森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	ハヤマ信仰		
伝承地域	双葉郡浪江町		
由 来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられたか)</p> <p>葉山は羽山、麓山などと書く。阿武隈山地の中部から北部にかけてと会津盆地にはハヤマと呼ばれる山が分布し、山頂にハヤマ神社と称する小祠が祭られていることが多い。</p> <p>山容が端麗で、里から一望され、また、山頂から祭祀する集落が良く見渡せるのが特徴である。</p>		
内 容	<p>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>中村藩の地誌『奥相志』によれば、浪江町でハヤマ神を祀っていた集落は七か所あり、そのうちのひとつとして加倉地区の今神山でもハヤマ神を祀っていた。</p> <p>羽山神は、五種の種物を施し恵みを与えと言われ、百姓は稲作を守護する神として尊崇し、今神山のハヤマ神では、五月朔日から八日までの祭りでは作の豊穰を祈念し、十月三日から十日の祭りでは豊かな稔りに感謝する祭りを行っていたが今は途絶えてしまった。</p> <p>今神山は、歴代の中村藩主から八町四方を神域とし斧を入れることが禁じられたことから、森厳な森として維持されたという。</p> <p>ハヤマは、作の豊穰を願うムラ人によって「作神」としても信仰され続けてきたが、こうした「作神」はムラにとって最も関心の高い神であり、集落を見渡せる山頂に祀って子孫の生活の安寧を見守るとも考えられてきた。そうした神観念の背景には、子孫を見守る神としての祖霊信仰があるとの指摘もある。</p>		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	(出典)『浪江町史 別巻Ⅱ 浪江の民俗』 浪江町教育委員会		

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名（ふりがな）			※顔写真ありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。（貼りつけずに名前がわかるようにして同封ください。）
	性別・年齢	男 ・ 女		
	生年月日	明治・大正・昭和・平成	年生	
	住所・電話	〒 電話		
	職業			
団体	団体名（ふりがな）			
	代表者氏名（ふりがな）			
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先	電話		

フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

加倉の集落からみる今神山



(浪江町教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。